

教育センター通信

第3号(通算 119号)
令和6年6月28日

三条市教育委員会
教育センター発行

小中一貫教育
トップページ



ほ ど 火床の火の心を紡ぐ



令和6年6月18日(火)・19日(水) 於: 佐渡市
「しただの郷学園 小学校 修学旅行」
(5つの小学校の5・6年生で合同実施)

それぞれの立場でWEBQUの活用を

学校教育課 統括指導主事 大野 郁子

学校には6月中のWEBQU実施をお願いしていますが、1回目実施後の活用は進んでいるでしょうか。6月に実施をお願いするのは、4、5月の学級や個人の状態を6月に客観的に分析し、夏休みまでの期間に分析に基づいたアプローチをしてほしいという意図があります。

WEBQUを効果的に活用するために、特に次の3点をお願いいたします。

- 1 実施日にすぐに結果のチェックを行い、SOSを出している子どもの話を聞く
- 2 自分の学級の状態に関する解説を読み、学級の状態に応じた手立てを講じる
- 3 担任だけでなく、結果を活用し、組織的に対応する

1については、結果を印刷機能の全体表「ヘルプサインチェック」を選択するとすばやくチェックできます。SOSを出している子どもの話をすぐに聞き、対応してください。いじめを認知した時には、すぐに情報を共有し報告し、組織的に対応します。

2について、WEBQUには、早稲田大学教授・河村茂雄先生の著書のエッセンスが入っています。学級の型をどう見取り、どんな手立てを行ったらよいか、著書を紐解いて調べていたことが、WEBQUでは、ボタンを押すと解説として表示されます。一人一人の状態や学級集団に対するアドバイス、対応すべき指針が表示されますので、指針をもとに具体策を話し合い、手立てを講じてください。

3について、以前のQ-U検査では、結果は棚にしまわれ、主に担任が使うものとなっていたのではないのでしょうか。WEB版の強みの一つは「組織的対応ツールになった」ことです。結果は、棚の中ではなく先生方の手元にあります。学年主任、生徒指導主事、生活指導主事、研究主任、特別支援コーディネーター、養護教諭、管理職等、WEBQUは、さまざまな立場から結果を見ることができます。そして、子どもたちや学級の様子を気に掛け、建設的な声掛けをしていただきたいと思います。

「どうやって見たらいいかわからない」、「結果の分析の仕方がわからない」という方は、まず、WEBQUの画面を開いて、自分が普段気になってる児童生徒、学級の様子を確認するところから初めてみてはいかがでしょうか。それぞれの立場からの活用をぜひお願いいたします。

学園紹介

三条嵐南学園

5月15日に小中合同研修会を開催しました。田村学園長より、今年度の三条嵐南学園のグランドデザインの変更点についての説明がありました。4つの柱を推進する土台として「特別支援教育」の充実を大切にしながら、学園の目指す「ふるさと三条に誇りをもち、個性を輝かすことのできる子ども」の育成を図ること、そのためにも、小中一貫教育を更に充実させ、目指す児童生徒像に向け、9年間の教育課程を組むことを確認しました。

全体会后、各部会の活動内容の確認と実施方法の検討を行いました。また、共同授業部会では、教科部会で授業実施計画を立案し、今年度の見通しを共有しました。



学園運営についての説明（多目的ホール）



各部会の活動計画案（多目的ホール）

瑞穂学園

5月15日の「キッズウィーク」の日に、第1回瑞穂学園職員研修会を実施しました。瑞穂学園の全職員が月岡小学校の体育館に集まり、学園のグランドデザインや知・徳・体各部会の計画について共有することができました。

後半は、上越教育大学大学院学校教育研究科教授の高橋知己様を講師にお招きし、「生活アンケートの目的や活用の仕方と作成上の留意点等」のテーマで御講演いただきました。各グループで、笑顔で対話する姿が見られ、学園の先生方の関係が、グッと縮まるとてもよい時間となりました。



講演会の中で、笑顔で対話する姿



講演会の中で、笑顔で対話する姿

大崎学園

大崎学園生徒会「双華会」の総会が開かれました。この総会には、前期課程5年生以上後期課程9年生までの学園生が参加します。双華会総会に初めて参加した5年生は、「緊張した」「質問をしている後期生がすごいと思った」という感想をもちました。

前期課程体育祭は、毎年、後期生が応援に行きます。競技を見てもらい、応援の声を掛けてもらうことで、実力以上の力を出す前期生。前期生の姿にかつての自分の姿を重ね、現在の自分を振り返るとともに、自分自身の成長を感じる後期生。大崎学園の合言葉、「ワンチーム」「大崎プライド」を具現している姿が見られました。



双華会総会（5/22 体育館1）



前期課程体育祭（5/25 グラウンド）

CS ディレクター等研修①

令和6年6月14日（金）開催

6月14日に「CS ディレクター等研修①」を開催しました。昨年度までCS ディレクターと学校のCS担当者のみを対象としていました。今年度は、多くの学園・学校運営協議会委員の方からも参加してもらい、コミュニティ・スクールを推進したいと考え、「CS ディレクター等研修」として開催しました。結果、学園・学校運営協議会委員20名、学校担当者17名の参加がありました。

研修では、「地域をフィールドとして、子どもたちに未来を拓くための生きる力を育むために」、学校運営協議会（目指す方向性等、協議の場）と地域学校協働本部（様々な団体等とのゆるやかな連携と実働）の両輪での推進をお伝えしました。

その後、他の学園（学校）の方と2回グループを変え、次のテーマで情報交換を行いました。

- ① 現在、学園（学校）で行っている活動と今後新たに行いたい活動案
- ② CS ディレクター等を中心に地域での活動を計画したり、学校と連絡したりする組織づくり

最後は、自学園の参加者同士でグループとなり、「今後、自学園でできること」について話し合いました。活発な話し合いが行われ、研修終了後も残って話し合いを続ける学園もありました。

参加者からは、「他の学園（学校）の取組がわかり、たいへん参考になった」「情報交換の時間が短い。もっと深く話し合いたかった」「本気でやるということは、根本的なことも見直す必要があると感じた」「各地の先進的な取組を紹介してもらえるとありがたい」など前向きな感想が多くありました。学園・学校のコミュニティ・スクールを更に活性化したいと考えておられる委員の方が多く、今後が楽しみになるとともに、充実した研修の場を提供する責任を改めて感じました。



各学園ごとのグループで話し合い

算数・数学指導力向上研修①

令和6年5月28日（火）開催

鹿児島大学准教授の和田信哉様を講師に、算数・数学指導力向上研修を実施しました。算数・数学は系統性がある教科であり、既習内容は「集合」「拡張」「補完」の考え方により、新しい概念を導けることが、算数・数学を学ぶよさの1つであると伺いました。授業づくりの視点として、単元の始めに子どもが持っている素朴な見方・考え方を大切にするを挙げられていました。「素朴」の表現から、教師が子どもの問題意識に寄り添い、子どもが自ら考えたい授業づくりを目指すことの大切さを再確認する機会となりました。



【参加者感想抜粋】

- ・ 数学的な見方、考え方を育てる授業の見通しの立て方が上手くいかないことが多く、悩んでいたところでした。本研修を通してその方向性が見えてきたこと、そこに向かうために数学のよさをより子どもたちに伝えたいと思い、それらを統合して授業づくりを進めていきたいと考えました。ありがとうございました。
- ・ 統合と発展の繰り返しのイメージをもち、算数・数学のよさをしっかりと認識しながら、授業づくりをすることが大切であると感じました。校内での研修に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 振り返りをする内容について、見方・考え方を振り返ることが大切だとお聞きました。その授業で自分がどう変わったのか、何が変わったのかなどを振り返らせ、学びが深まるようにしたいと思いました。

WEBQU 特別研修

令和6年5月29日（水）開催

早稲田大学教育・総合科学学術院教育学部教授の河村茂雄様を講師に、WEBQU 特別研修を実施しました。三条市での対面による講演は、実に6年振りの開催（3年前はオンライン方式での開催）で、河村先生の熱量あふれる語りに参加者の皆さんは夢中になっていました。

不登校の児童生徒数が増加する中、児童生徒の支援や学級づくりに学校体制で取り組むことが大切です。河村先生は、2次の支援レベルの児童生徒への対応を確実に行うことと、データを整理し活用することが大切であり、そのためのツールとして、WEBQUを活用することを強調されていました。WEBQUは、児童生徒の入力後、瞬時に結果が可視化され、分析表示されます。また、学級担任や学年部だけでなく、生徒指導主事や養護教諭、管理職等の端末からも結果を確認することができます。ぜひチーム学校としての組織的対応に生かしていただけますようお願いいたします。



【参加者感想抜粋】

- ・ 組織で対応することの重要性を改めて感じました。様々な年代の先生方が多い中、全職員でしっかり分析して、チームで子どもたちのために取り組んでいきたいです。
- ・ WEBQUによって見えてくる子どもの実態に合わせて一喜一憂するのではなく、そこに授業なり、支援なり、様々なアプローチの仕方を工夫していくことで、変容を見とれるということがわかった。担任だけでなく、学校体制で取り組むメリット、Webでやることでデータの蓄積ができるメリットがわかった。
- ・ 三条市が推進している小中一貫教育を応援する形で御指導いただき大変勉強になった。WEBQUのデータを基に組織的に学級経営そして学校経営を進めていきたい。

WEBQUは各学校で6月を中心に1回目が実施されています。楽しい学級、居心地のよい学級づくりのために積極的に活用してください。